

## 「SDGsを調べてみて～水について～」

朝和小学校 5年 岡本 葉里

私は、SDGsについて調べました。その中で私は、「水」のことについてくわしく調べました。

まず、SDGsとは「持続可能な開発目標」という世界の目標です。この目標は、2030年までに達成しなければならない具体的な目標です。その中の6番目の目標、水を紹介します。

まず、SDGsにはまだまだ解決しないものが色々ありますが、水では、「水不足」や「水質汚染」などがあります。特に水質汚染は、水が汚いままなので、水中の生物の生活条件が悪化したりしてしまいます。

水不足もかなり大変です。水が足りない国だってあるのに、水不足になってしまうと、その国には水がなくなってしまうかもしれないし、日本だって水がなくなってしまうと日本も畑や水が必要なところに水が届かなくなってしまう、危機におちいってしまう可能性があるのです。

さっき、紹介した問題達にはちゃんとした理由があるのです。その理由を紹介していきます。

まず最初に、水質汚染の原因です。理由は台所やお風呂、トイレなどの日常生活から出される生活排水だそうです。かつては、産業排水が主な原因でしたが、工場などに対する規制が強化され、水質汚染は、「生活排水がまきおこしている」というのが主な原因になりました。

次に、水不足の原因です。原因は、主に人口増や産業発展による「水の使用量増加」、地球温暖化が引き起こす気候の変動が「水利用を非効率に使用していること」などが原因だそうです。

そして、自分にできることを考えてみました。

まず、水質汚染についてです。水質汚染は、私たちの生活排水が原因なので、生活排水を出来るだけ減らすこと、お米のとぎ汁は植木の水やりに、シャンプー、リンス、洗ざいなどは適量をとること、油などはできるだけ排水こうに流さないなど、私たちにできる事は、水質汚染対策だけでもたくさんあります。

次に、水不足について私たちにできる事です。必要ではない水は使わない、出さない、水を出しっぱなしにしない、水源を守る、お風呂の残り湯をせんとくやそうじに使う、お手洗いの大小レバーを使い分ける、せんとくはまとめて洗うなど、水不足対策もいっぱいあります。さっき紹介した対策法は、私たちにもすぐためすことができるので、みなさんもためしてみてください。私もためしてみます。

これらのように、色々進んでいるSDGsでも、まだ進んでいない課題だってたくさんあります。今回紹介した水問題や他の「戦争」「貧困」「自然」の問題などまだ解決していません。ですが、私たち個人がSDGsに協力すれば、2030年までにすべての課題を終わらせることができるかもしれません。これからも節水や自然にやさしくしていこうと思います。